

〔教育講演〕

顔の成長と遺伝

10月13日 15:05 - 16:05

九州大学歯学部小児歯科学講座

教授 中田 稔

〔講師略歴〕

1964年 東京医科歯科大学歯学部卒業

1968年 同大学院小児歯科学専攻を修了。歯学博士

1971～
1973年 米国インディアナ大学に留学

1977年 東京医科歯科大学助教授（小児歯科学）

1979年 九州大学教授（小児歯科学）

〔要旨〕

顔のかたちや大きさには幅広い変異がある。したがって咬合の様式も千差万別となる。このような変異をもたらす要因のなかで、両親から受け継がれる遺伝要因について考えてみたい。患者の血縁関係者から得られる遺伝情報の組み合わせによる診断、遺伝的素因が発見された場合の予防と抑制の体系、あるいは予後の判定への応用などは、今後大いに研究開発すべき課題ではないだろうか。